



武蔵境駅北口広場 30年ぶりに、完成おめでとう 市民・議会・行政、力を合わせて南北一体の街づくり

本年4月武蔵境駅北口広場と駅舎が完成しました。計画以来、30年にわたる先人達の努力の結晶です。
JR中央線高架事業1750億円、武蔵境駅北口再開発事業は関連道路を含め3000億円の大事業です。
武蔵境駅の南北が一体となって新しい時代が始まりました。緑と文化あふれる西の玄関として益々発展することを祈ります。



▲武蔵境駅北口交通ロータリー

市民が提案 グリーンゲート
西口改札 ウエーブのついた屋根



武蔵境駅広場街づくり協議会幹事長
秋本 正

平成6年に中央線の高架化事業が決まり、北口再開発事業と連携した境の未来が見通せるようになりました。そこで百年の計に立つて駅舎と北口広場を市民の手でつくろうと平成8年に協議会を立ち上げました。新しい武蔵境をつくるため、南口の武蔵境ポウリング場、エイトスイミング、北口の武蔵境自動車教習所、武蔵境ゴルフセンター等、当時のスポーツ関係団体等の協力でスポーツフェスティバルを実施し、さらにバザーも行い収益を市に寄付して駅のモニュメントが出来ました。ウエーブのついた駅舎の屋根、西口改札、グリーンゲート等、私たちの提案が実現しました。これからも境が発展することを祈ります。



▲北口グリーンゲート

中央線高架化完成、着実に進む街づくり。
武蔵境の更なる活性化に全力!



東京都議会議員
島崎よしじ

中央線連続立体交差事業の起工式が平成11年3月にありましたが、私も当時「ふるさと武蔵野の街づくりに参画したい」と市議会議員に立候補しました。JR中央線の高架化事業は都の事業ですが、国やJR東日本(株)の全面協力と武蔵野市の強力な運動があって実現したのだと思います。今後、私は都議会議員の立場から、ハードソフト両面でこのまちがもっと輝き発展できるように、全力で取り組んでいきます。

市民参加でつくった
境の街づくり



元武蔵野市境北口まちづくり市民委員会委員長
赤間 照子

武蔵境駅北口再開発事業が反対運動で停滞していた30年前、土屋市長が市民委員会をつくと決め、私も委員として参加しました。最初の数回は、賛成・反対の激論で「一歩も進みませんでしたが、やがて武蔵境の未来のためにと団結し10数回の会議の後、現在の案が決まりました。あの時の委員の情熱が、今日の武蔵境をつくったのだと思います。

明治22年 甲武鉄道に 土地を寄付し駅を誘致



税理士
秋本 誠一

明治22年(1889年)4月、甲武鉄道(現在の中央線)が敷設された時、曾祖父秋本喜七が駅舎敷地を寄付し、田無への新道を開削し、境停車場誘致に成功しました。ここに駅をつくれれば玉川上水の桜見物に来る乗客で賑わう。境村も発展する。との信念でした。当時喜七は28歳でしたが、その先見性と行動力に敬服します。現在の繁栄を見ると感無量です。



▲大正初期 改築された武蔵境駅

《 武蔵境と中央線の歴史 》

- ◆明治22年4月 旧吉祥寺村、西窪村、関前村、境村合併。武蔵野村誕生。
- ◆明治22年4月11日 甲武鉄道 境停車場開業 新宿・中野・境・国分寺・立川の五駅。
- ◆明治32年12月 吉祥寺駅開業。
- ◆昭和5年6月 三鷹駅開業。
- ◆昭和15年 三鷹駅北口開設。
- ◆昭和44年 三鷹駅まで高架複々線完成。
- ◆昭和52年 武蔵境駅北口再開発事業(市案)発表。反対運動で進まず。
- ◆昭和58年5月 土屋正忠市長となり、59年7月市案を凍結。武蔵野市境北口まちづくり市民委員会発足。
- ◆昭和61年8月 新武蔵境駅北口再開発事業(案)、都市計画決定。
- ◆平成元年 東京都がJR中央線高架事業の調査1億円をつける。
- ◆平成6年5月 JR中央線三鷹、立川間連続立体交差事業、都市計画決定。
- ◆平成8年9月 スイングビル開館。
- ◆平成10年 南口食糧倉庫跡地を市に払い下げ、プレイスの用地取得。
- ◆平成11年3月 JR中央線高架事業着工式。
- ◆平成17年10月 邑上市長就任。
- ◆平成22年11月 JR中央線高架事業完成。
- ◆平成23年7月 武蔵野プレイス開館。
- ◆平成28年3月 武蔵境駅北口再開発事業完成。

武蔵野プレイス誕生



元市議会議員
田中 節男

現在のプレイスは旧農林省食料庁の倉庫跡地でした。地元皆さんが取得を希望し、市が買収の方針を出したのは30年前のことです。市議会に特別委員会をつくられ、私が委員長になり、南北一体のまちづくりのシンボルとなる施設

の規模等を巡って喧々諤々の議論の上、土屋市長と共に基本計画をつくりあげました。キーワードは「図書館、市民活動、特にこれまで行政サービスが薄かった青少年の居場所づくりでした。プレイスと名付けた所以です。邑上市長が1万㎡をさらに縮小するといった時、市議会は猛反対し撤回させました。現在来館者は年間150万人。縮小派におもねらず、規模を守って本当によかったと思います。



▲武蔵野プレイス

街づくりに責任



衆議院議員・前武蔵野市長
土屋 正忠

武蔵野市長として22年にわたってゼロから武蔵境駅北口の再開発事業とJR中央線の高架事業に携わってきました。一、反対の声が多かった北口再開発事業を凍結して市民委員会をつくり、新計画を作ったこと

二、JR中央線高架事業の具体化に向けて鈴木俊一都知事、水村一郎都議会幹事長(当時)と強力に進めたこと
三、南口旧農林省倉庫跡地5000㎡の利用計画を作り国有財産の払い下げを受け、若者、女性、高齢者、全市民が利用できる施設とし、プレイスと名付けたことなど思い出し、誇りに思っています。

自民党はまちづくりに
全力!!

市民不在の邑上市政!

ここが問題!

危険な三鷹駅ロータリー! 本格改修を急げ!



市議会議員 木崎 剛

平成24年に行った駅前ロータリー改修に対して、計画の段階から問題点を指摘してきました。歩道の傾斜が無くなり、東側の歩道が広がりましたが、ロータリー内でバス

タクシーと自家用車が複雑に交差するという新たな問題が発生しています。

車両が行き交う中を人が横断、早急に対策を!

一般車両が駅前には停車できないことも問題です。駅側に一時停車できるスペースがないため、ロータリー内の島側で降車し車両が行き交う中を人が横断している大変危険な状態です。

私達が再三指摘をし、改善を求めてきましたが、市民の命が危険にさらされているにも関わらず、問題が放置されています。

現在では、暫定改修であるとの説明ですが、本格改修の見込みは立っていません。早急に本格改修に取り組みべきです。

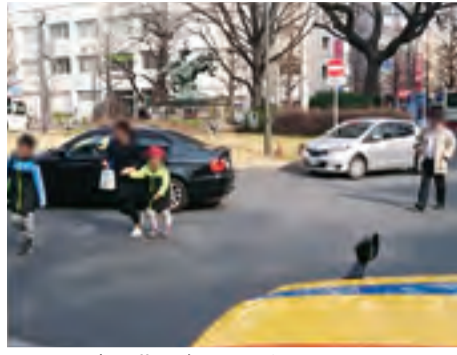
公共施設の整理・譲渡を突然公表、市民不在の市政運営



市議会議員 きくち 太郎

市民の大切な財産である公共施設の今後を決める総合管理計画の策定に関しては、これまで全く議論されていない公共施設の廃止や、外郭団体への資産譲渡などが突然打ち出されています。貴重な市民の財産を民間団体に勝手に譲

与してしまつてよいのか、また、計画案を公表してからわずか3ヶ月で策定しようとしていることは「市民がまんなか」ではなく「市民不在」の市政運営であると言わざるを得ません。平成28年度予算に関しては、この計画策定を丁寧に行うよう指摘し、付帯決議を付けての可決となりました。付帯決議を受け、市長は丁寧な合意形成を図りながら進めることを表明しましたが、ぜひ市民の皆様のご意見をお聞かせ下さい。



▲三鷹駅北口交通ロータリー



市議会議員 高野 恒一郎

施設一体型の小中一貫学校の設置へ向けた検討が突然打ち出されました。市の職員が検討した報告書を根拠とし、市民の理解を全く得ないまま

報道発表が行われたことは問題です。

公共施設削減に伴う学校施設の統廃合が目的であることは明白であり、施設一体型義務教育学校の設置は言葉のすり替えに過ぎません。

制度を変えれば、いじめや不登校などが解消されるのか?

市は、小中一貫教育による

中1ギャップやいじめ・不登校の解消が目的と説明していますが、十分な議論を経ないまま、制度を変えることで教育が良くなるというような考え方は危険です。

これまで武蔵野市の教育が取り組んできた、小中連携教育のさらなる充実など、子供達のためにはどのような教育環境が望ましいのか議論を深める必要があります。

吉祥寺駅南口交通広場の早期完成を



市議会議員 堀内 まさし

吉祥寺駅南口は狭い商店街に路線バスが侵入し、至近距離で歩行者とすれ違うという危険な状況が続いています。市では平成12年に南口周辺の交通環境の改善と安全な歩行空間の確保を図るため、南口駅前交通広場(約1900平方メートル)を都市計画決定しましたが、邑上市長

は地元の意見に耳を貸さず、16年経った今も完成の目処が立たない状態です。



▲吉祥寺駅南口

住みたいまちランキングで1位から陥落!

市長はまちづくりに対する情熱が欠如しており、この10年間吉祥寺に対して公共投資等を行ってきませんでした。また、長年市民に愛されてきた伊勢丹に賃料の値上げを迫ったことで事実上追い出し、市民からは「大人の買物をする場所」がなくなつてしまったとの声があります。

このような市の姿勢がこれまで先人達が築き上げてきた吉祥寺ブランドの相対的な

低下を招き、住みたいまちランキングの陥落に繋がっています。

まちづくりにはスピード感が不可欠!

私たちは、交通問題や建物の老朽化等の課題を、地域の方や利用者の方と共有し、膝を突き合わせて話し合いをして参ります。また「吉祥寺ブランドデザイン」の改定に合わせ、まちを再点検し未来に責任を持ち、スピード感を

市政へのご意見を自民党武蔵野総支部へお寄せ下さい。

TEL: 0422-50-0235
FAX: 0422-50-0252

熊本地震に関する被災者支援募金へのご協力をお願い

自民党武蔵野総支部では熊本地震に関する被災者支援募金活動を行っています。これまで街頭活動及び各種会合にてご協力を頂いておりますが、まだ募金活動は続けていきますので、ご協力いただける方は自民党武蔵野総支部までお問い合わせ下さい。

ご協力いただきました募金は自民党本部を通じて被災地に送らせて頂きます。

直接、ご支援いただける方は下記までお願い致します。
熊本地震被災者支援募金口座
金融機関:りそな銀行衆議院支店(支店番号328)
口座番号: (普) 0037643

ジントウトレンサイガイエンキン
口座名: 自民党都連災害義援金

受付期間: 平成28年4月18日(月)~6月30日(木)

国政・都政・市政しっかり連携! 自民党



都議会議員 島崎 よしじ

衆議院議員 土屋 正忠

参議院議員 中川 まさる